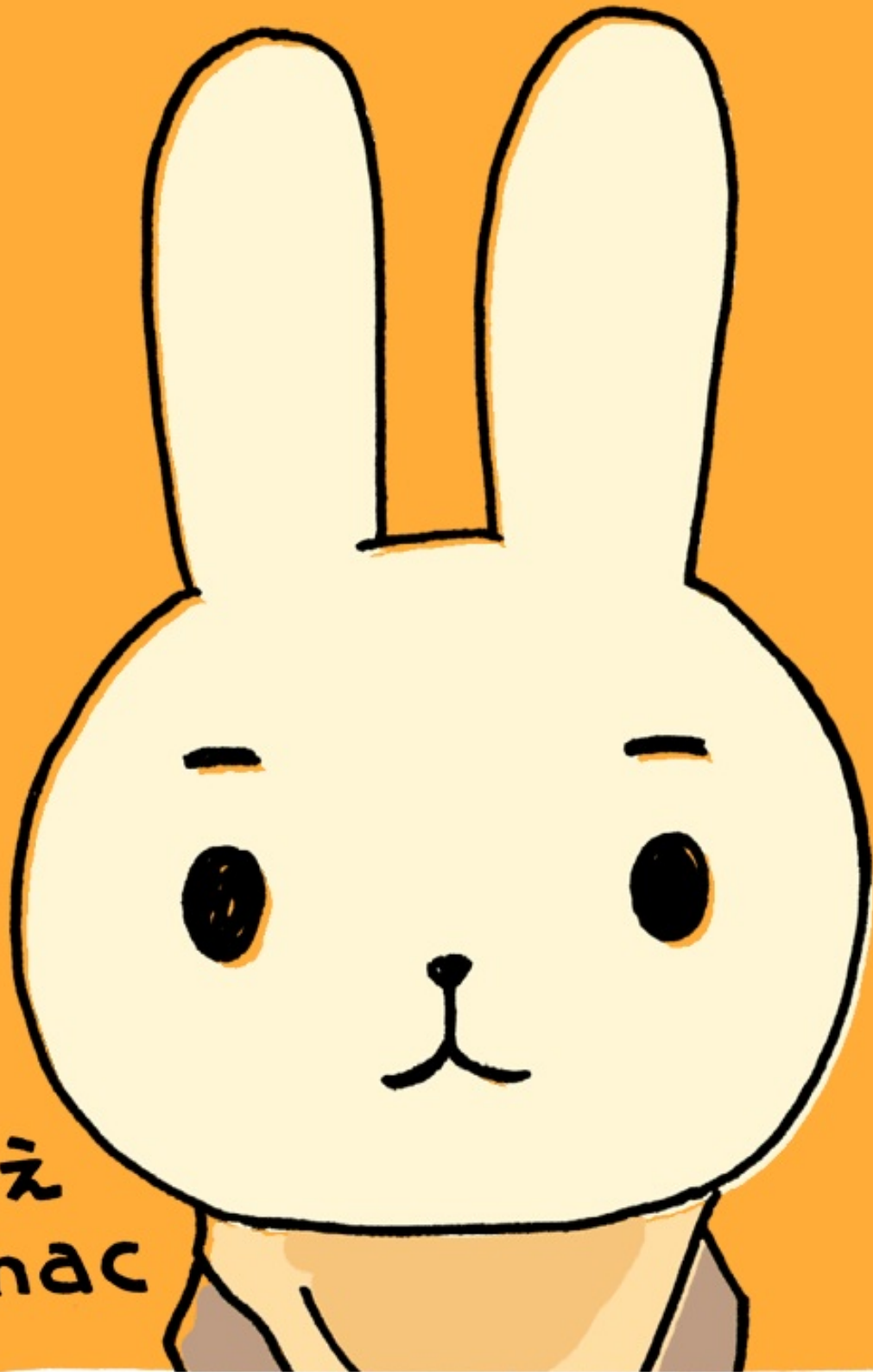


みちらいほあかん



さくえ
kanac

ウサ^だ田くにおくんは、
みならいほあんかんです。

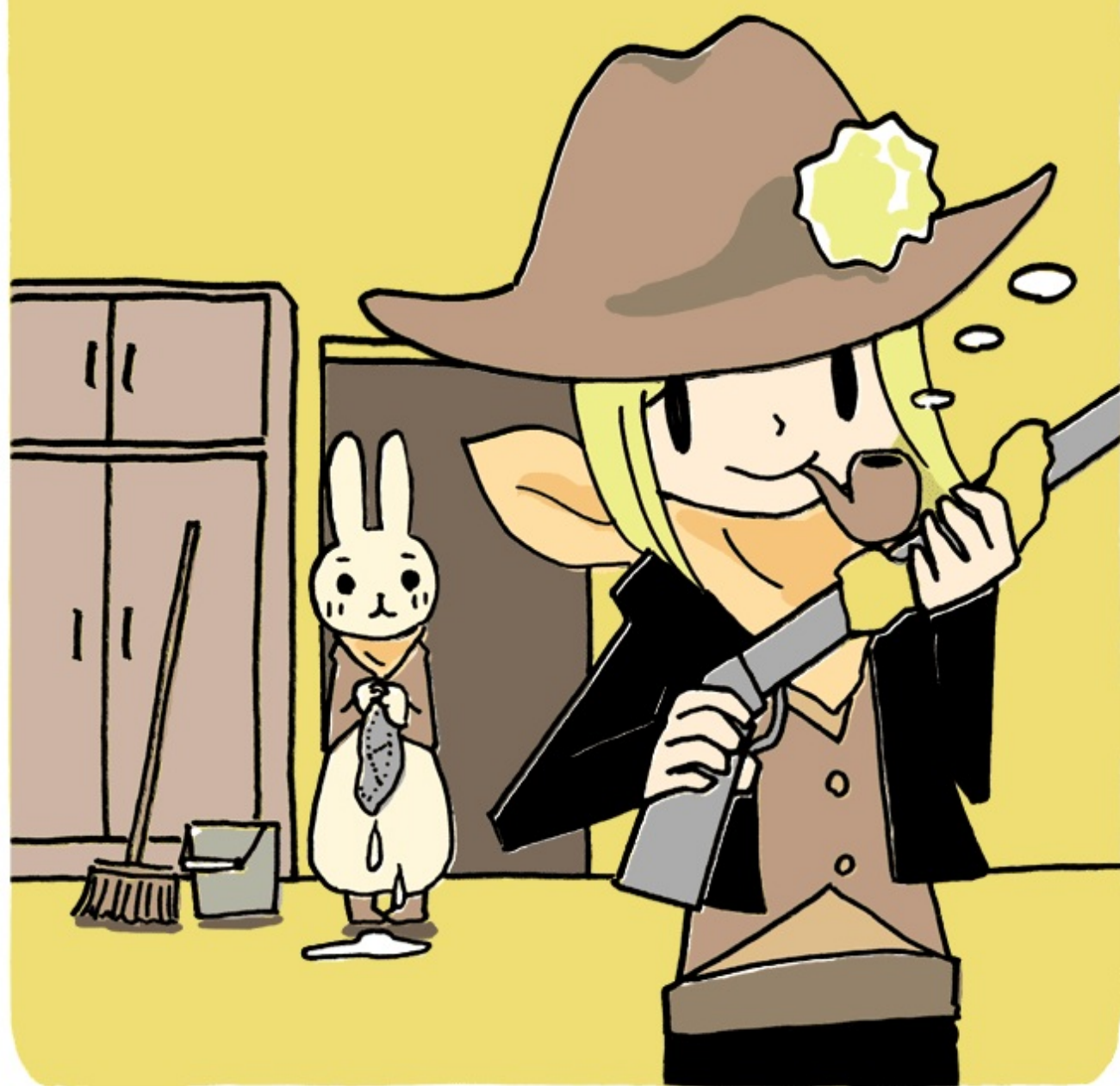


そうじに せんたく
しょくじの じゅんび。

いつも、
いっしょうけんめい。



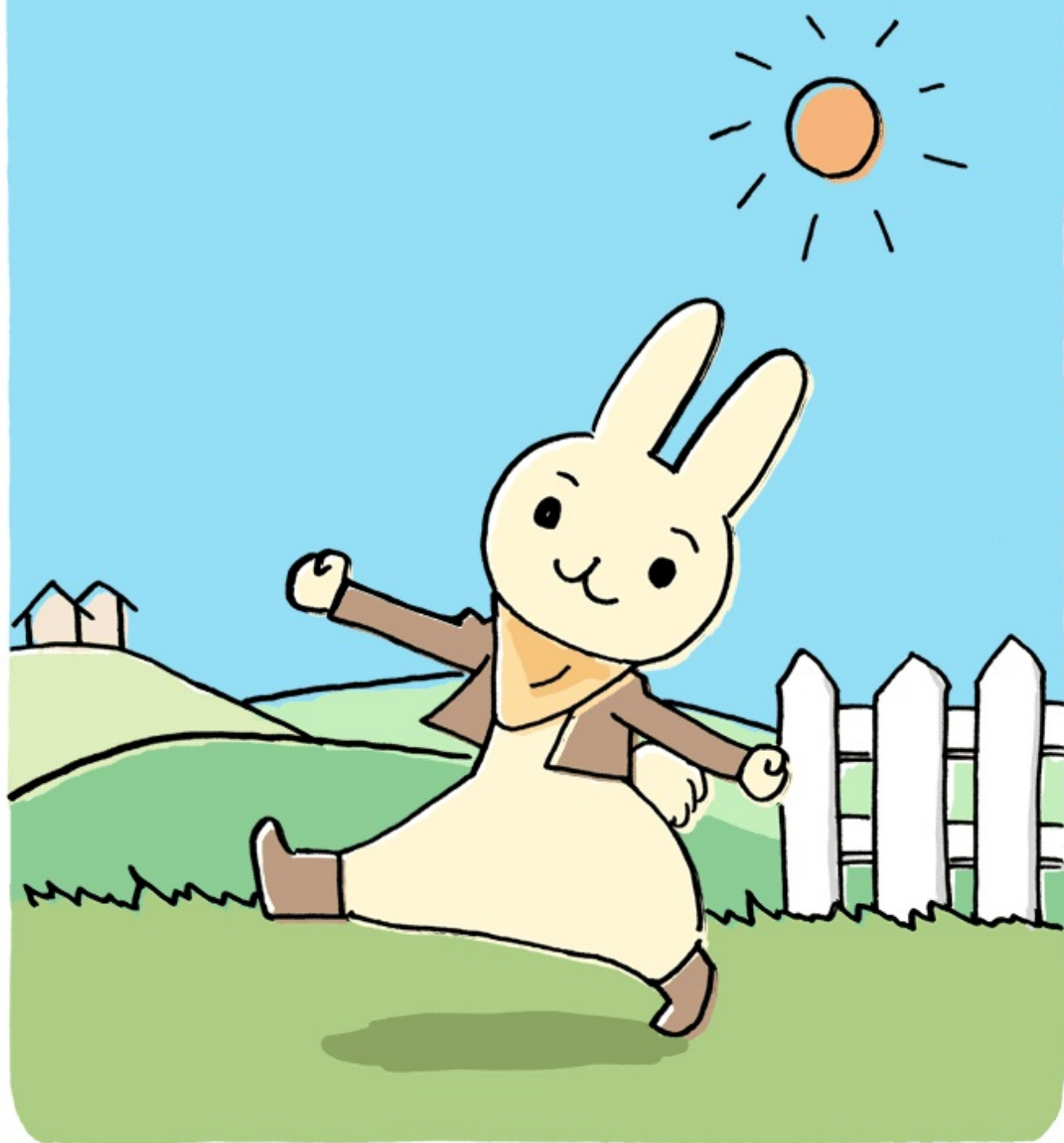
いつか、ほあんかんみたいに
かっこよくなりたいなあ。



きょうは、はじめて
ひとりでパトロール。
「いってまいりまーす。」



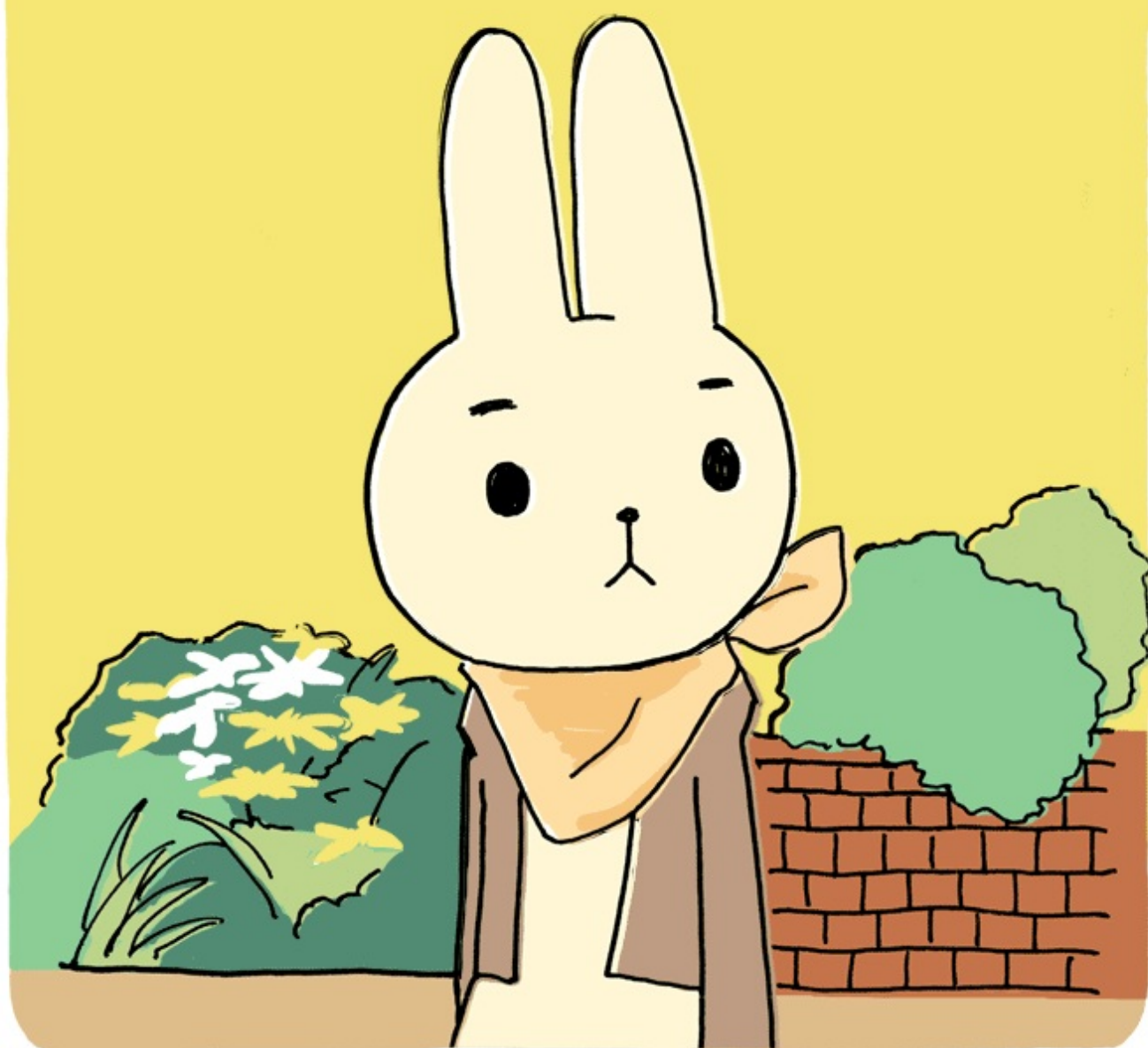
「ぼく、はりきっちゃうぞ。」
でだしは じょうじょうです。



「うええん。」

おや？ だれかが ないている。

とってもとっても ちいさな こえで。



なっていたのは
ちいさなハチ。

「はねが やぶれて
とべないんだよ。」

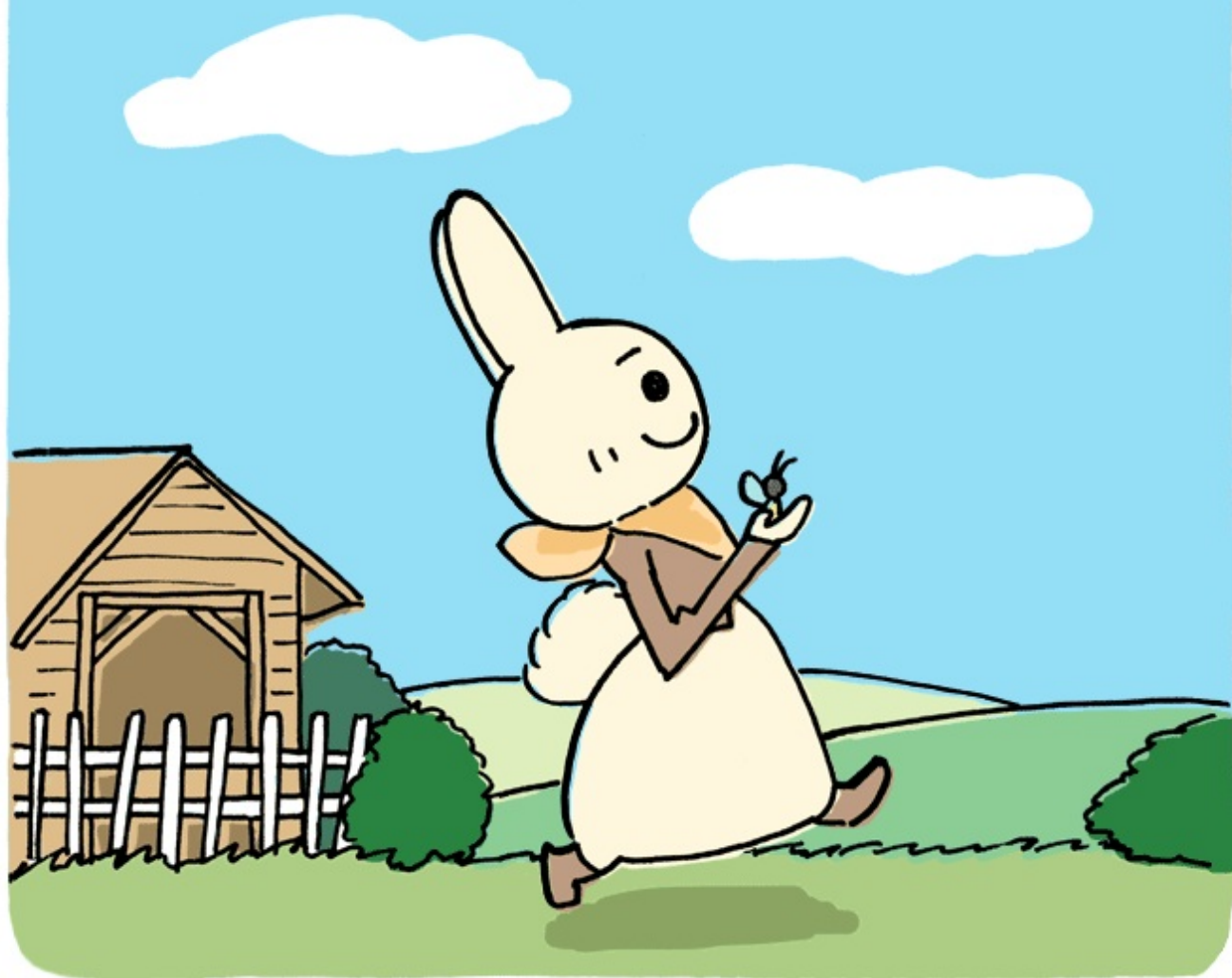


おうちまではこんであげるよ。

「さすが ほあんかん。たよりになるなあ。」

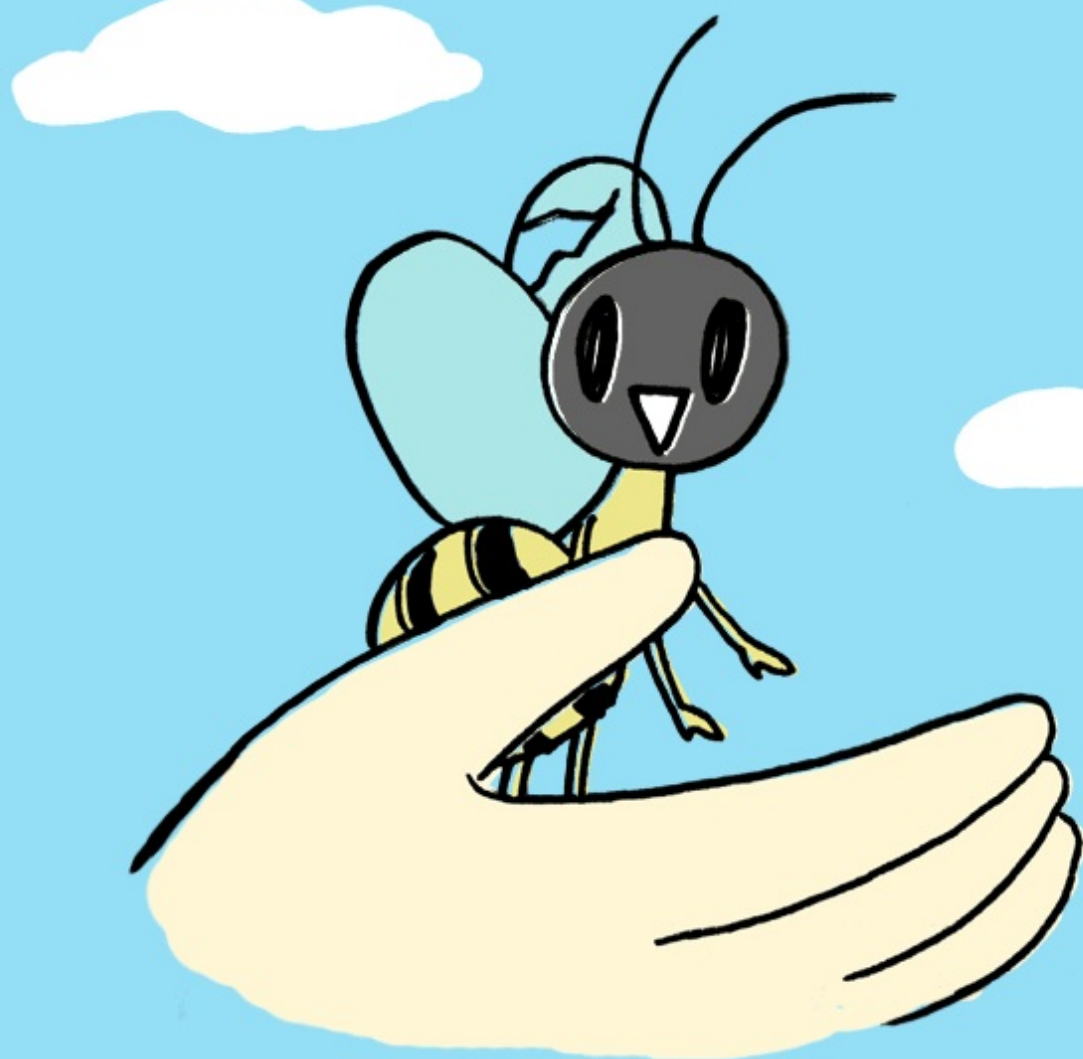
おや？

ぼく まだ みならいほあんかんだけど…

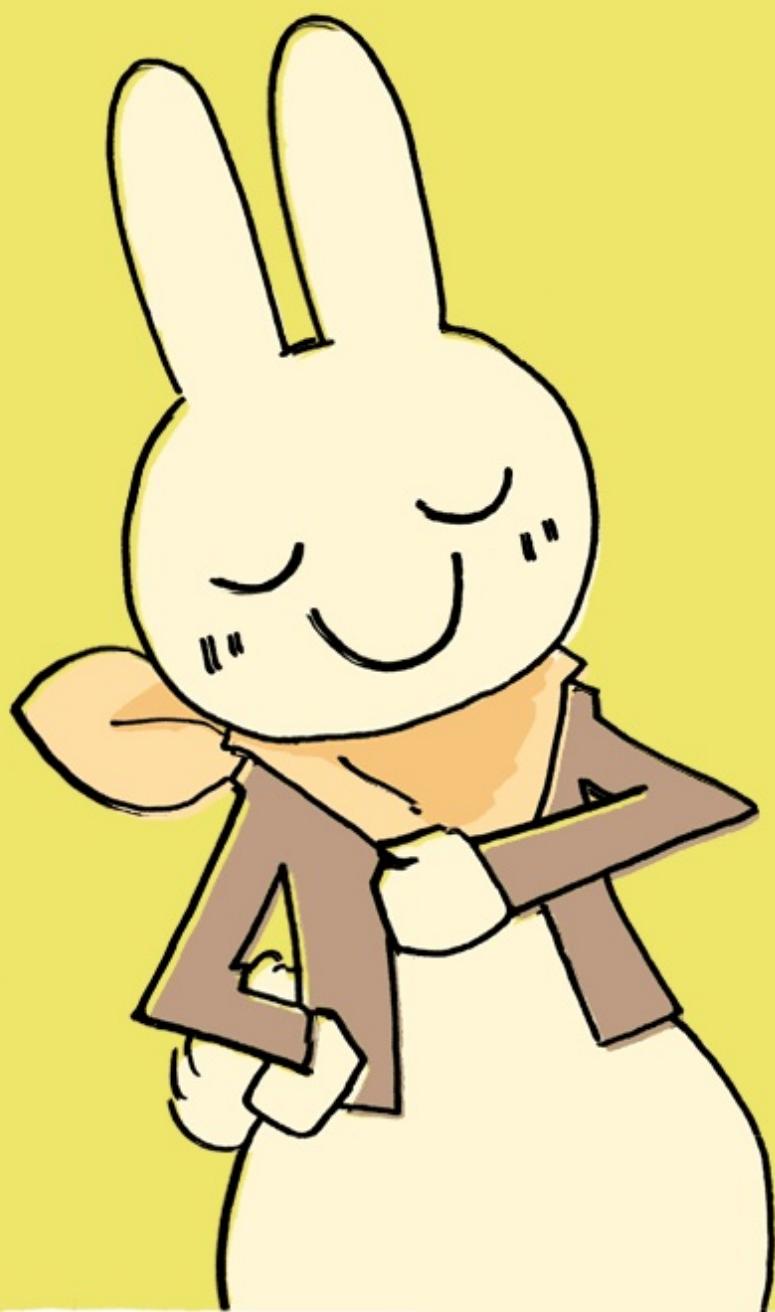


「ありがとう、ほあんかん。
おかげで おうちに つきました。」

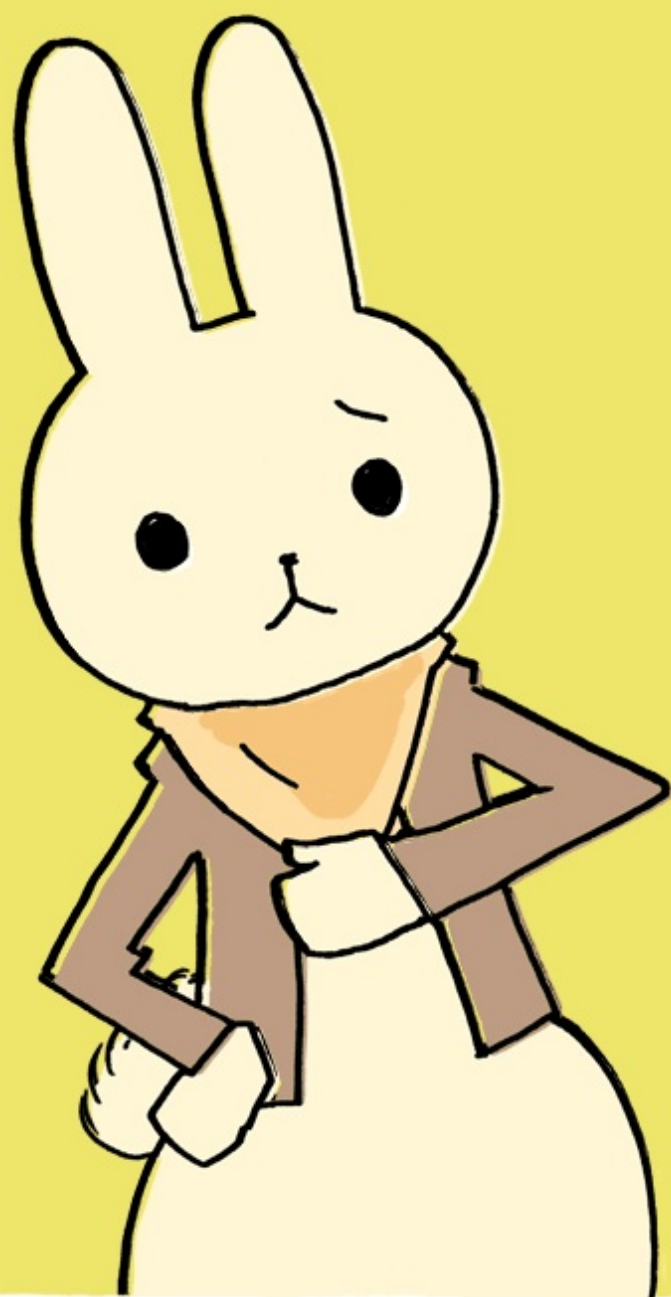
ハチは すっかり ウサ^だ田くんを
ほあんかんだと おもっているようです。



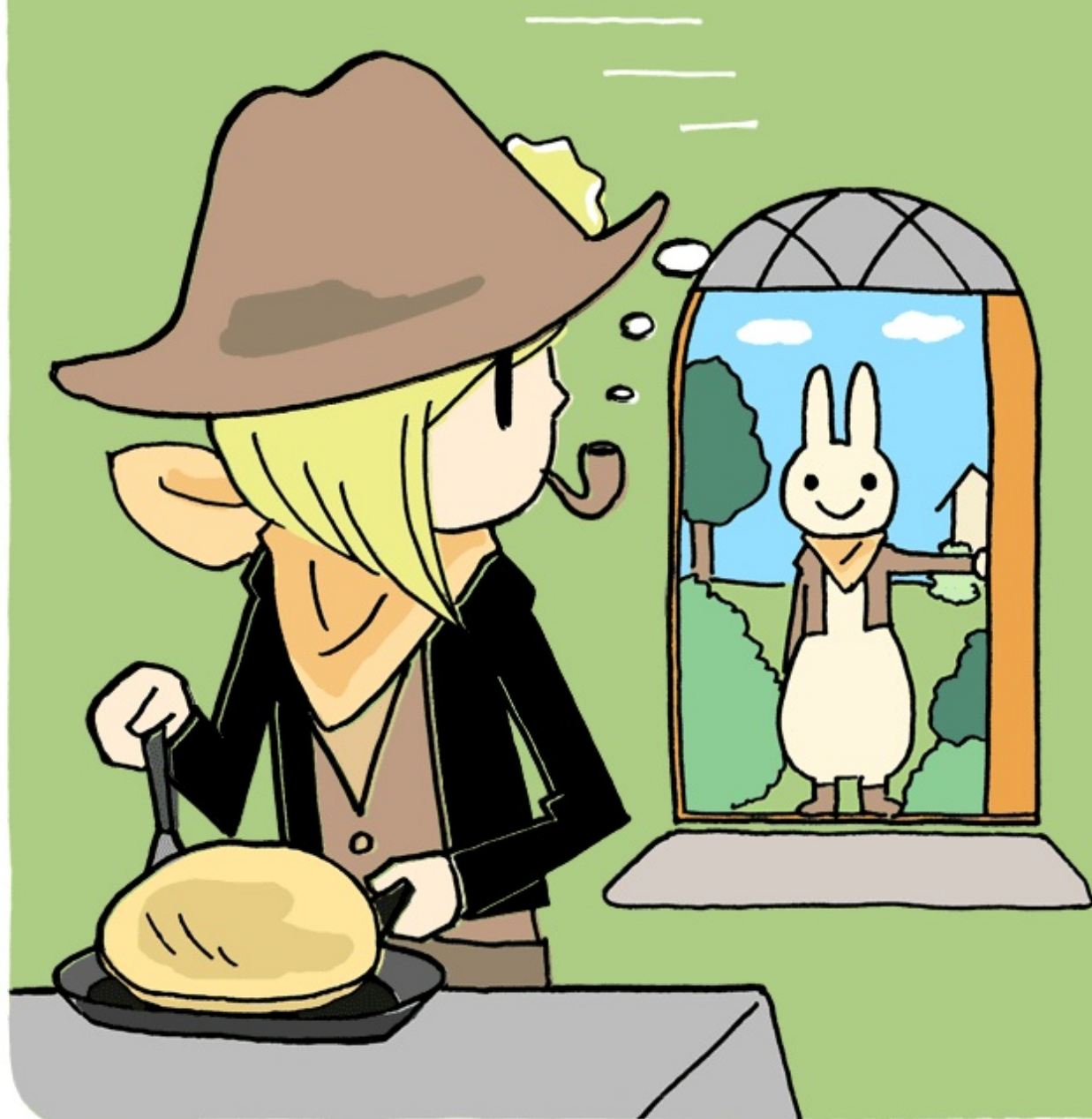
ウサ^だ田くんは うれしくなって、ドン！
むねをおおきく たたきました。
「この ほあんかんに まかせなさい。」



でも、つい、ウソついちゃったなあ。
むねが ちくっと したような きがしました。

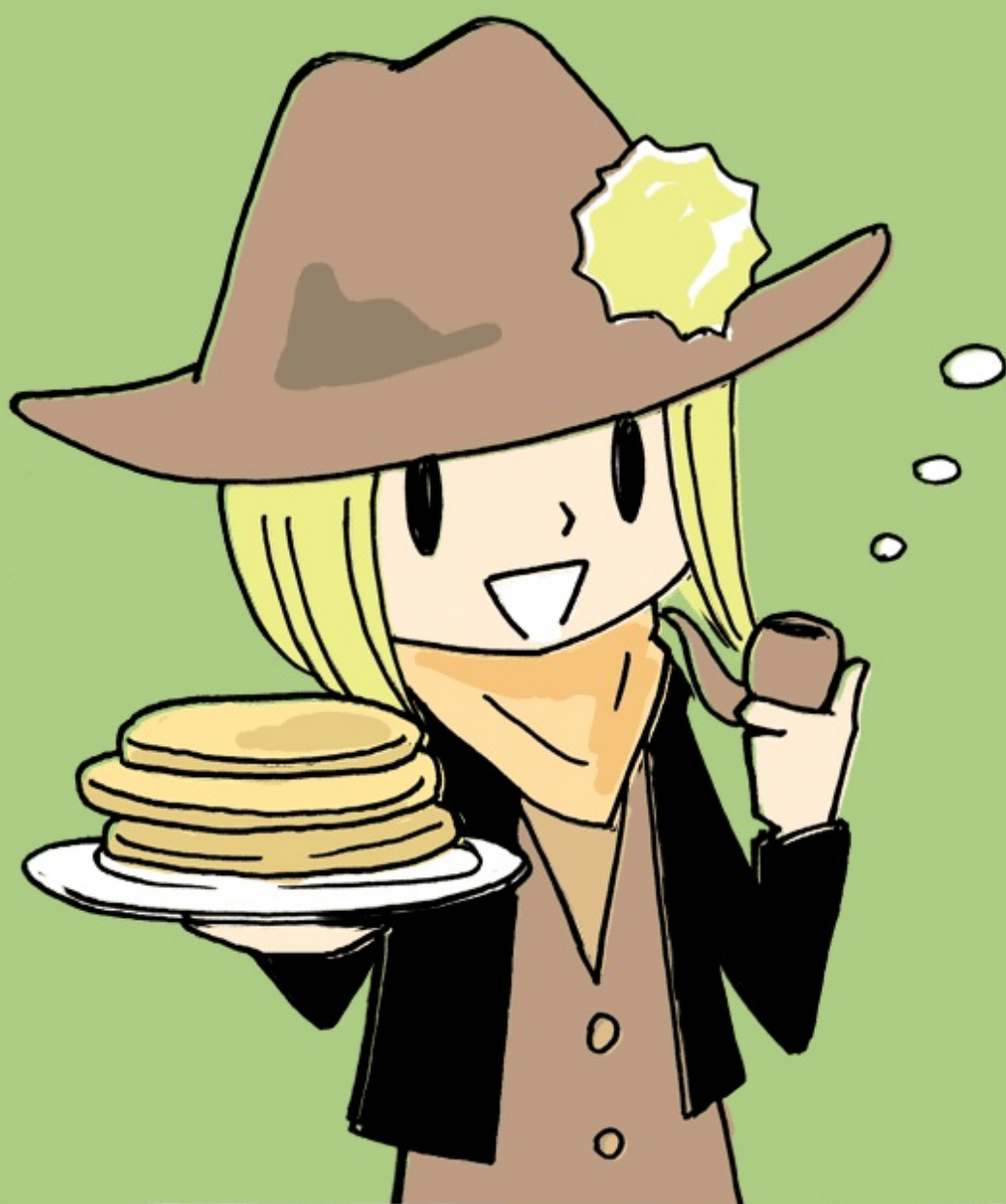


じむしょにかえると、ほあんかんが
おひるごはんにはホットケーキを
つくっていました。とっても、いいにおい！



「ウサ^だ田くん、いつも ごくろうさま。

いっしょうけんめいにはたらいっているから
ほあんかんになれる日も ちかいとおもうよ。」



さっき、うそついちゃったのに…。

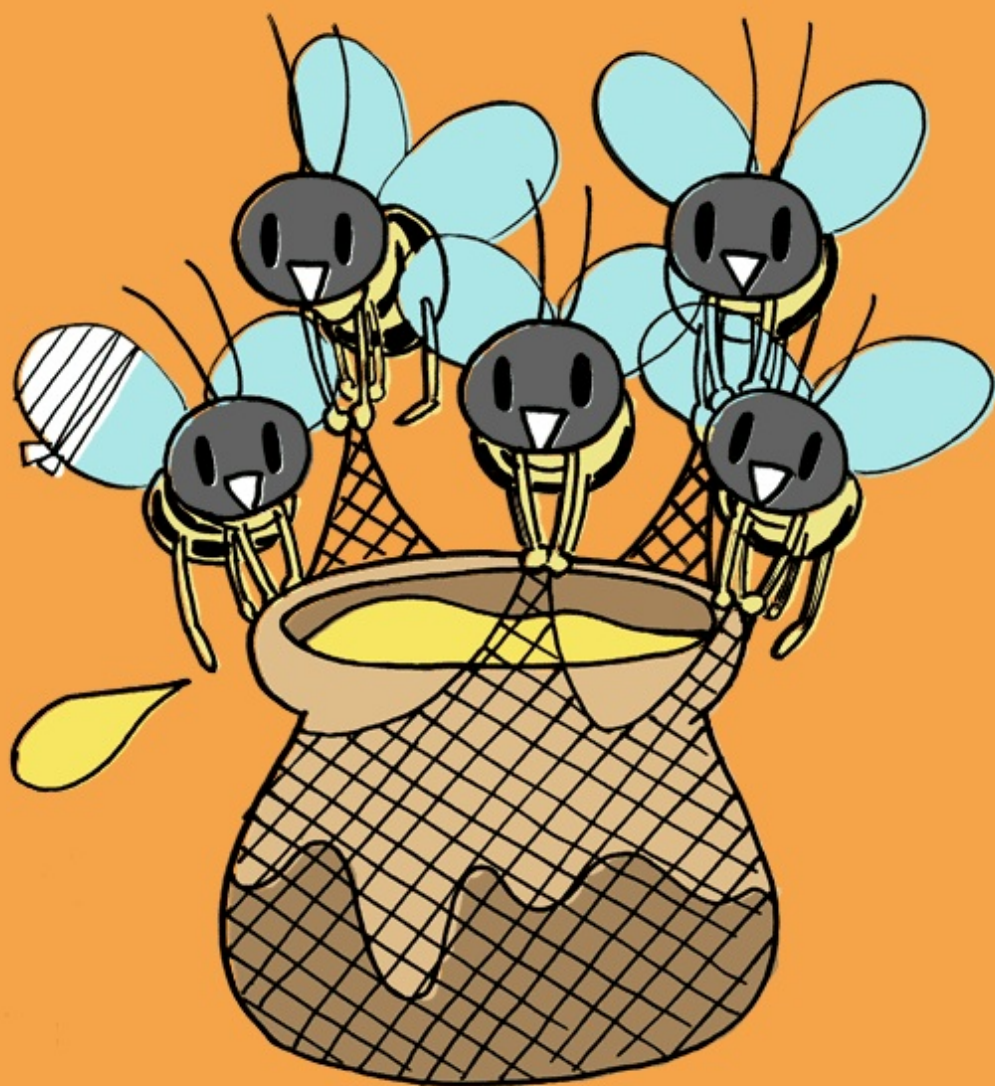
また、むねが ちくりとしました。



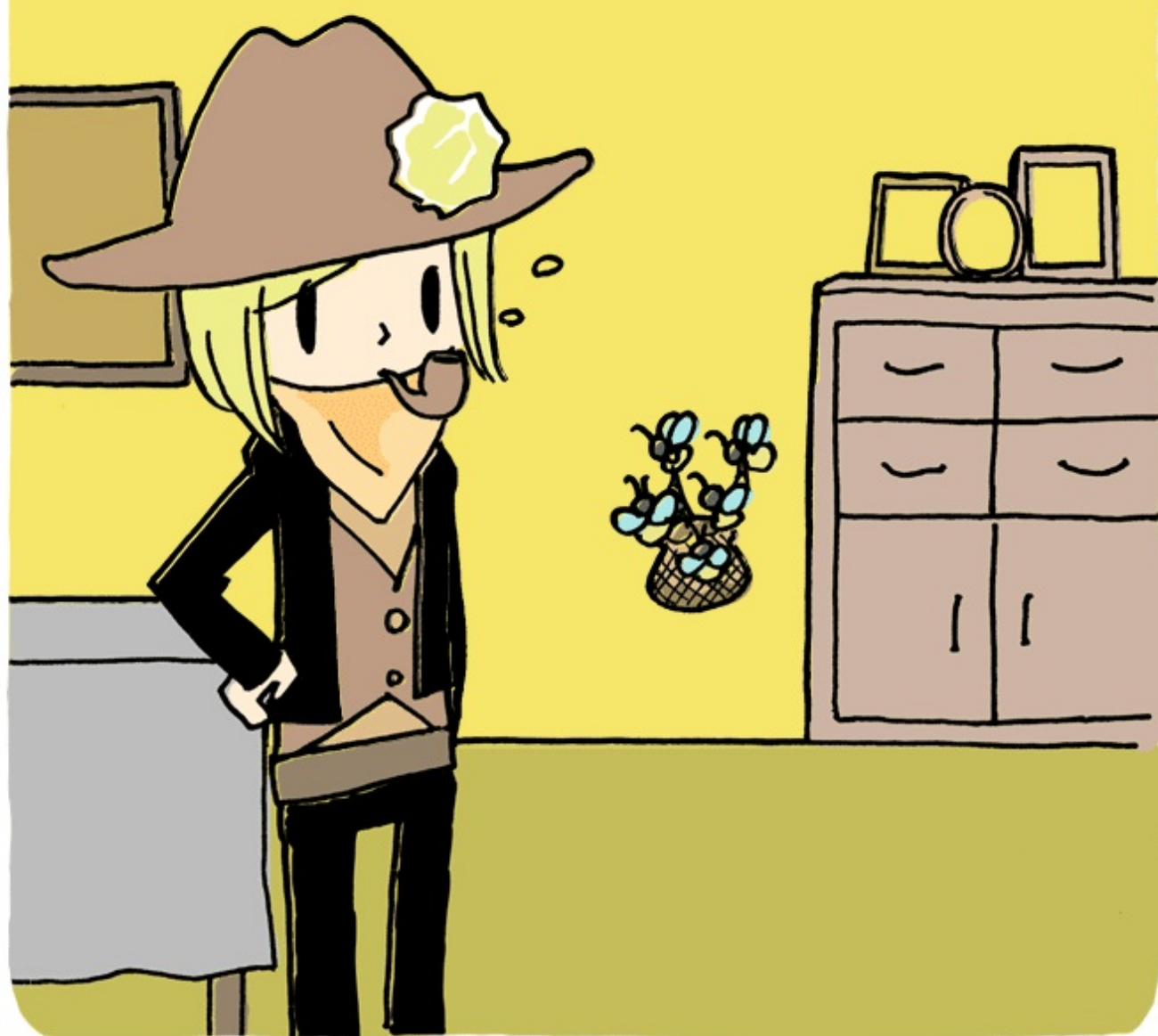
ぶううん。

「こんにちは。ほあんかんいますか。」

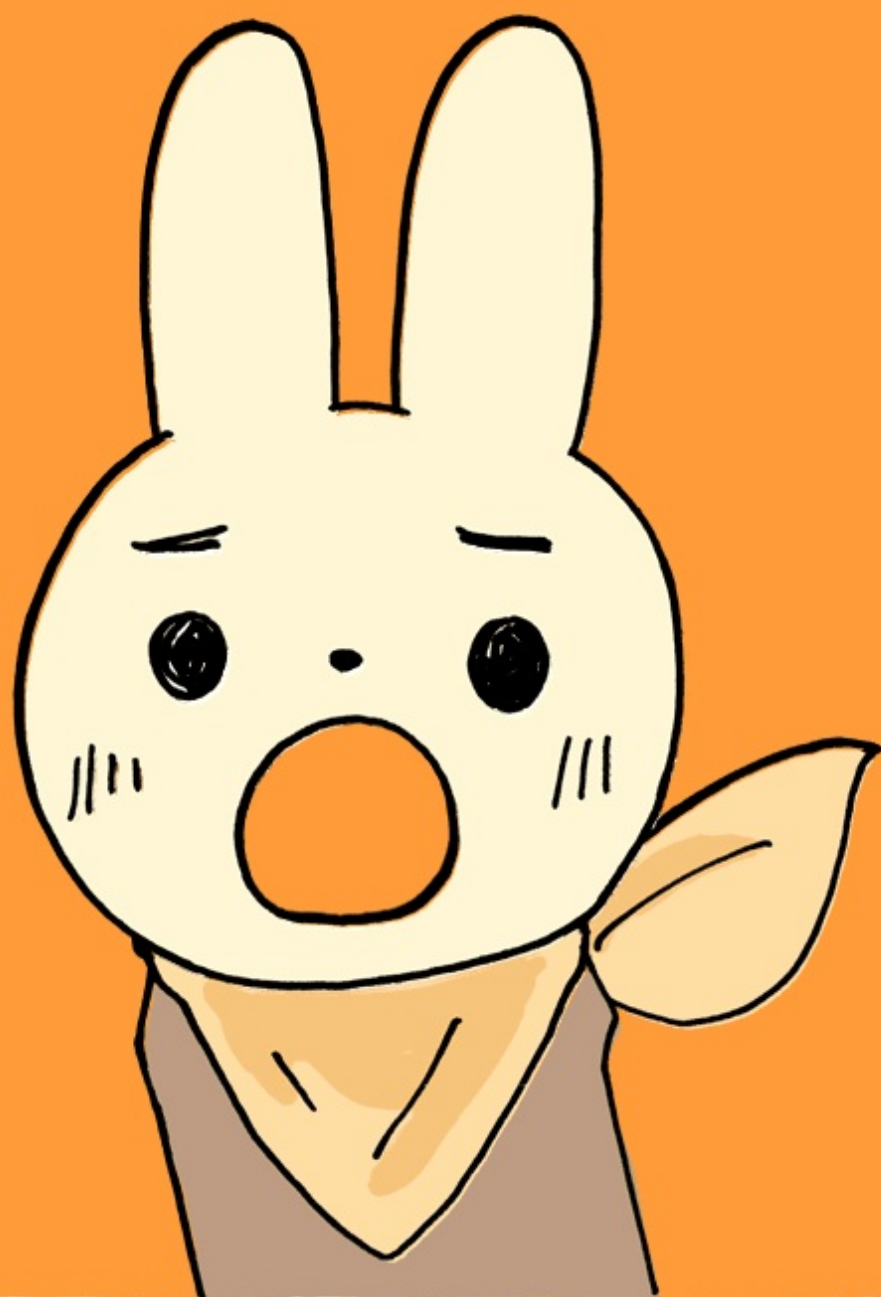
さっきのハチが、なかまといっしょに
やってきたのです！



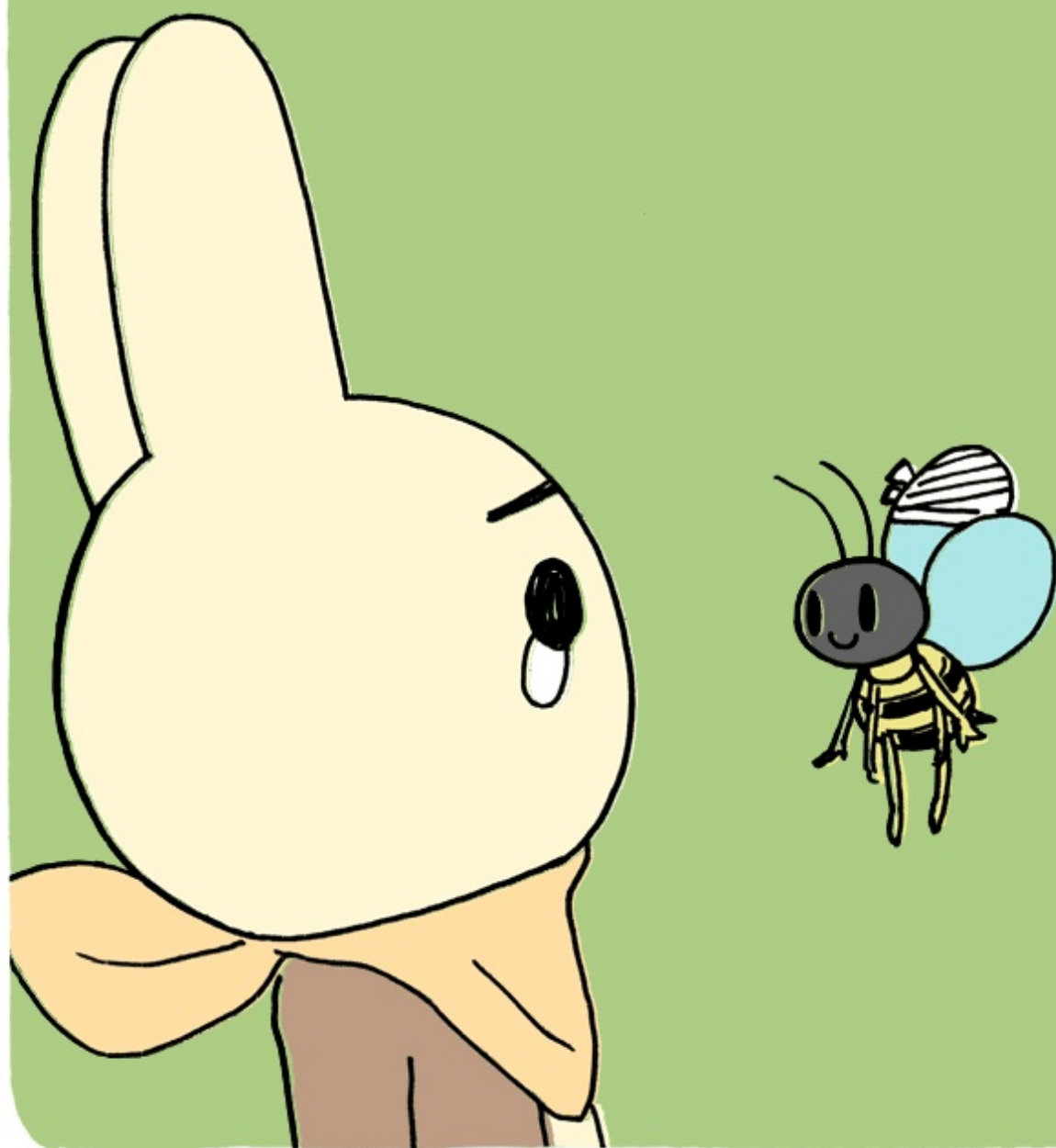
「ほあんかんは、わたしだよ。」
ハチたちは すこしおどろいて、
「あれ？ウサギのほあんかんじゃないな。」



「ごめんなさい。ぼく、ほんとうは
みならいほあんかんなのです。」
たまらず、ウサ^だ田くんがさけびました。



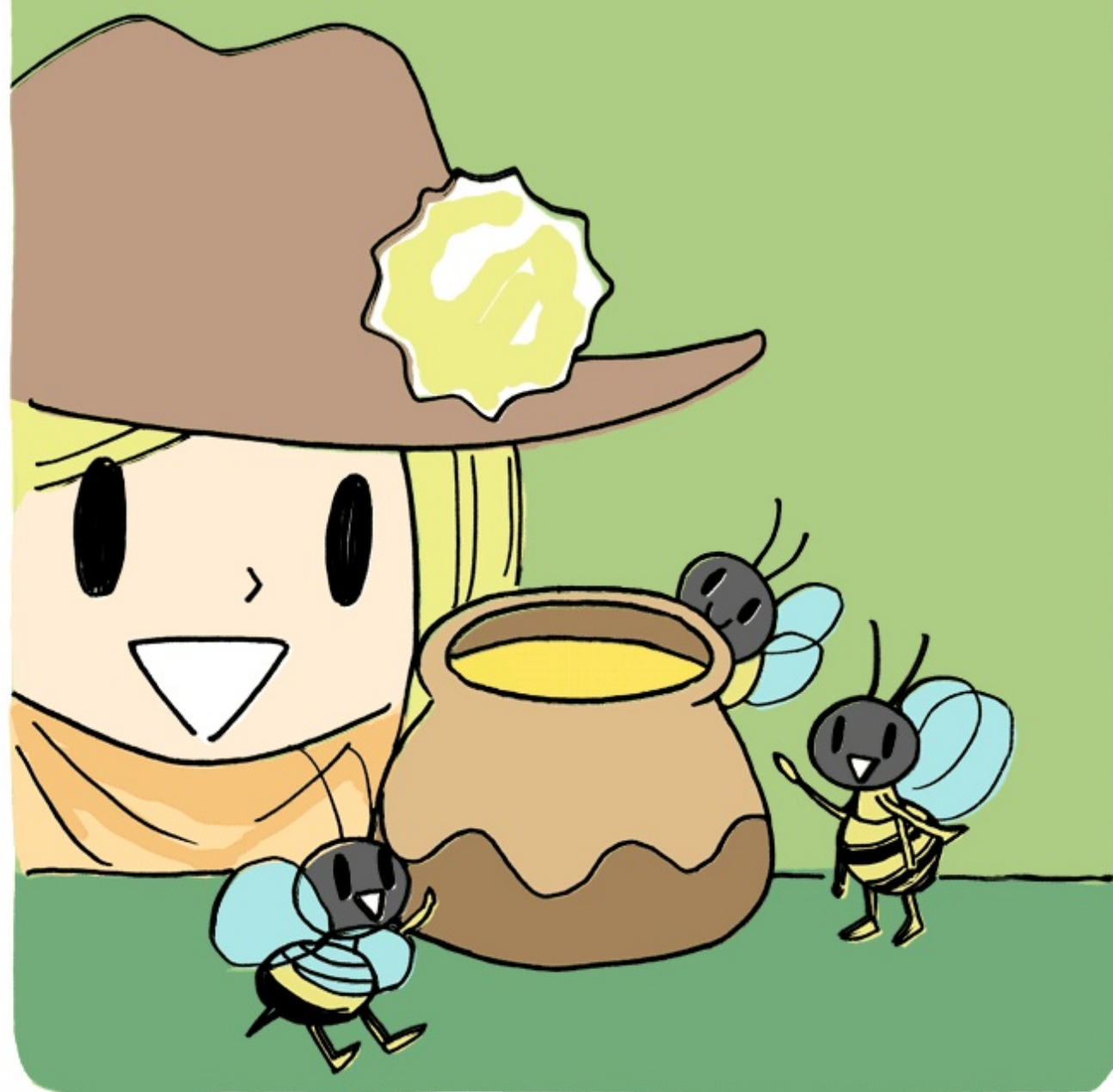
たすけたハチがでてきて、いいました。
「いいんですよ。きみが ほあんかんで
あろうとなかろうと、わたしをはこんで
くれた やさしいところは かわりませんよ。」



「それより ほら、わたしたちがもってきた
はちみつをどうぞ。おいしいですよ。」

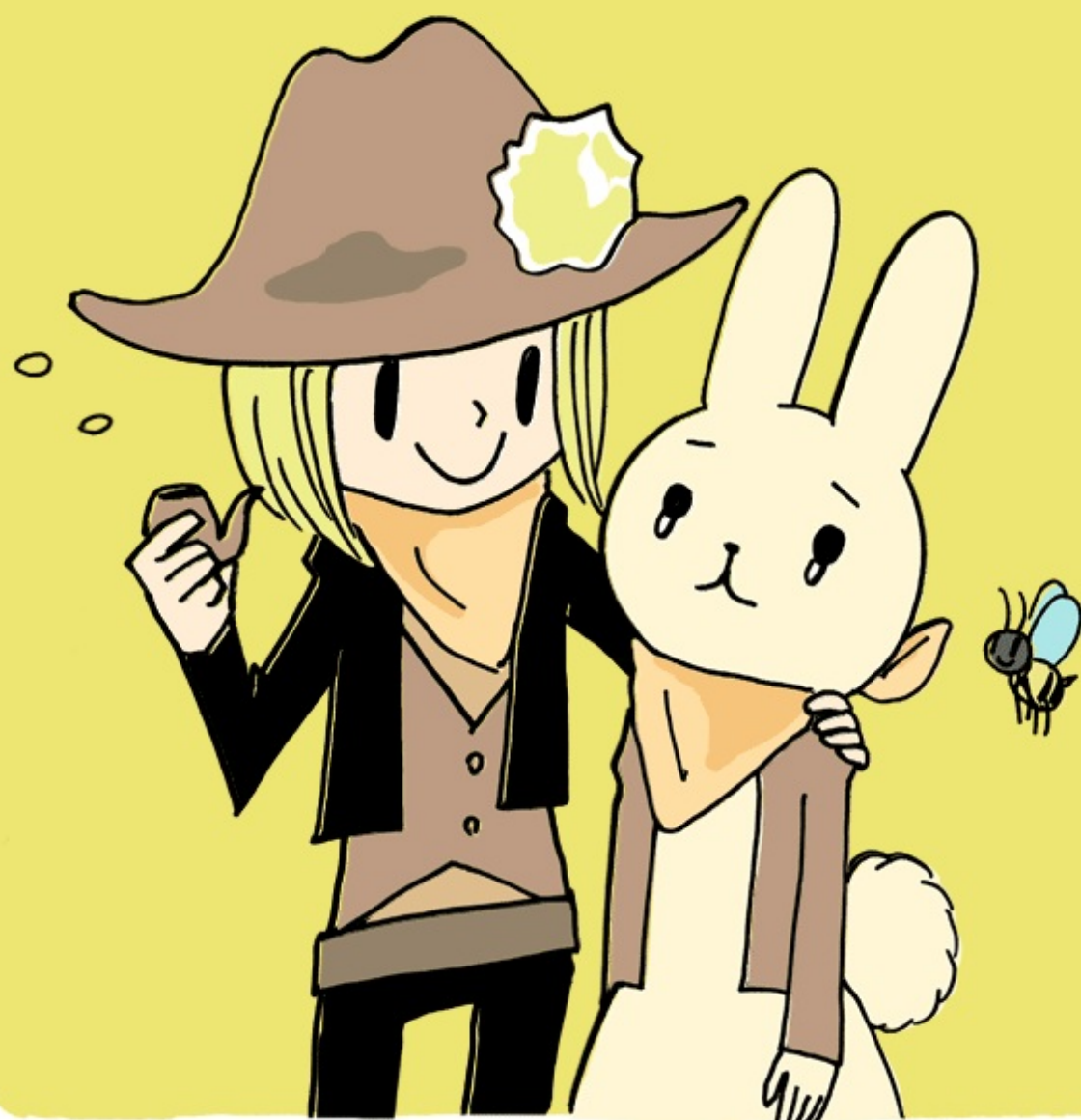
わあー、おいしそう。

ほあんかんは はちみつが だいこうぶつ。

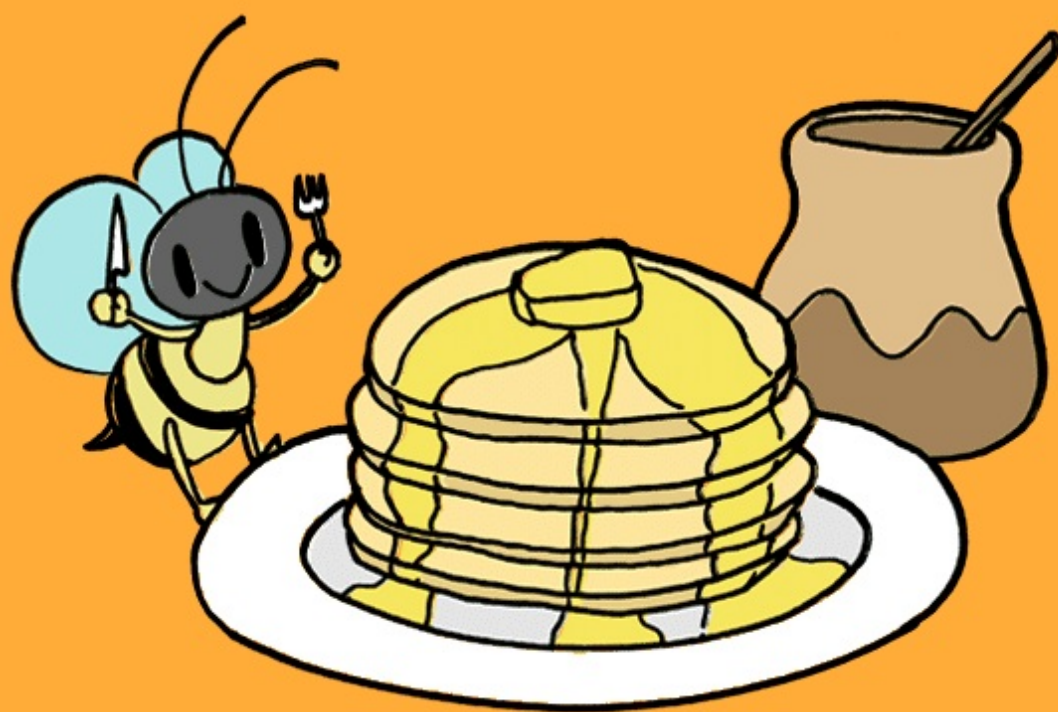


ウサ^だ田くん、おてがら、おてがら。

これからもよろしくね。



おわり



みならいほあんかん

2010年9月11日更新

さく・え kanac(かなつく)

<http://raabee.com>